

# 前沢四丁目と自治会のあゆみ

## 前沢村から大字前沢へ

「前沢」の名前の由来には、いくつかの説がある。地形的に落合川の源流に面していることに由来するという説、茨城県土浦御成付の前沢氏が開拓したという説など。江戸時代の文献には、尾張藩の御鷹野御成（鷹狩り）で前沢御殿を設置、前沢新田の開拓、そして前沢村など「前沢」という地名が登場している。

明治5年（1872年）、武蔵国だった現在の東久留米地域は神奈川県に編入される。明治22年（1889年）、前沢、下里、柳窪などの8村、2新田、各飛地を統合して神奈川県北多摩郡久留米村が誕生した。旧村は大字として残るだけでなく、現在まで自治会や消防団などの活動を通じて一定の地域的結びつきを残しているところが多い。明治26年（1893年）4月、東京都に編入された（東京府北多摩郡久留米村）。戦後の昭和31年（1956年）8月、久留米町となる。

## 滝山団地造成

旧前沢村の中心は長らく前沢宿近辺と所沢街道沿いで、現在の前沢四丁目付近は、昭和30年代までは畑と雑木林だけだった。一変したのは滝山団地の建設。

1963年以降、ほとんどが畑地だった小金井街道から柳窪近くまでの広大な土地（現在の前沢4、5丁目、滝山1～7丁目）が区画整理され、道路が整然と造られた。そのうえで滝山6丁目、遅れて滝山2丁目と3丁目に5階建ての集合住宅が作られた。

前沢四丁目は1968年から遊歩道沿いの公団分譲地の募集が始まり、抽選に受かった人が家を見て始めた。他の土地は地権者がそれぞれに分譲または賃貸住宅、自宅等を見て、あるいは畑地や雑木林のままにした。つばき公園は1969年に設立され、遊具や樹木などが整備されていった。

## 前沢四丁目の誕生

区画整理が始まる直前の1966年頃の地図によれば、のちの前沢四丁目となる地域には民家3軒と日本住宅公団久留米宅地開発事務所が記載されている。

### 幻の「前沢団地」

滝山団地は久留米町の大沢前沢と下里にまたがる地域に建設された。建設当初の名称は「前沢団地」。町の広報でもこの名称が使われていた。ところが最終的に日本住宅公団は「滝山団地」に決定。沢とか川、窪などは心象が悪い、〇〇丘とか〇〇山、〇〇台が良い、と主張したとのこと。

「滝山」は大沢前沢の小字「滝山道（タキヤマミチ）」からとった。

### 滝山団地への入居開始時期

- 1街区（賃貸）1,060戸 1968年12月
- 2街区（分譲）640戸 1969年2月
- 3街区（分譲）760戸 1969年3月
- 第2団地（分譲）720戸 1970年11月

### 日本で初めて！ 遊歩道

滝山地区の「歩行者専用道路」は日本で初めて人と車を分離することを計画、実現したとして、1967年度「日本都市計画学会石川奨励賞」を受賞しています。バス停を中心にして南北に5本の幅10mの遊歩道。わかりますか。

区画整理により、広くなった小金井街道と滝山中央通り、さらに新たに作られた新所沢街道と滝山公園通りと東西南北 4 本の道路により区画された台形の地域が生まれた。

久留米町は 1966 年から新たな住居表示を東部方面から順次実施していたが、1969 年 11 月 1 日、小金井街道から西の大字前沢、下里等の一部の住居表示を新しく定めた。これにより区画整理で生まれた台形の地域はそれまでの大字前沢字大道西または字滝山道から「前沢四丁目」という地名になった。前沢四丁目の誕生である。なお、ほぼ、つばき公園から南側が大道西、北が滝山道だった。

### 新しいまちづくり

団地ができ人口は急増、それに伴い七小、西中、九小が開校。弥生台幼稚園はすでに 1964 年、前沢幼稚園は 1966 年に開園しており、滝山幼稚園は 1970 年（～1995 年）、前沢保育園は 1978 年開園、前沢四丁目に大道幼稚園が設立されたのは 1980 年だった。

東久留米市で最初の児童館、「くぬぎ児童館」が前沢四丁目が開館したのは 1972 年 5 月。同年 2 月に開設された東久留米消防署前沢出張所と合わせ、前沢四丁目に市の施設が三つ置かれることとなった。

さらに町内では 1970 年代に農協の支店やロッテリアが進出（80 年代半ばに同じ場所でマクドナルド）、また、アパートや社宅も建てられるようになった。80 年代に入ると比較的大きなマンションがいくつも建てられ、人口、世帯数も増えていった。

| 近隣小・中学校の開校 |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 第七小学校      | 1968 年 9 月 1 日開校                   |
| 西中学校       | 1968 年 9 月 1 日開校                   |
| 第九小学校      | 1970 年 4 月 1 日開校                   |
| 滝山小学校      | 1975 年 4 月 1 日開校<br>(2004 年 3 月閉校) |
| 南町小学校      | 1975 年 4 月 1 日開校                   |
| 中央中学校      | 1984 年 4 月 1 日開校                   |



大道幼稚園、パンダの壁画

### 進む高齢化と増える若い世代

大道幼稚園は 2009 年 3 月廃園、消防署出張所は 2010 年 3 月、東京消防庁管轄下となるのに伴い廃止、くぬぎ児童館は 2014 年 2 月休館（→廃館）。2018 年 4 月に子どもセンターあおぞらが開館されるまでの間、市の施設はすべてなくなった。

前沢四丁目の人口は 1989 年に 1,500 人を超えて以降、20 年以上横ばいが続いていたが、2012 年前後から新しい戸建て住宅が再び建てられるようになり、若い家族が増えてき

前沢四丁目の世帯数、人口

| 調査年    | 世帯数 | 人口    |
|--------|-----|-------|
| 1972 年 | 161 | 495   |
| 1975 年 | 233 | 728   |
| 1980 年 | 324 | 1,009 |
| 1990 年 | 530 | 1,556 |
| 2000 年 | 550 | 1,493 |
| 2010 年 | 652 | 1,538 |
| 2020 年 | 777 | 1,743 |

(住民基本台帳 1 月 1 日現在)

た。高齢化率は 22.5%と市の 28.1%と比べてかなり低い（2019 年）。一方、高齢者と高齢者のひとり暮らしの世帯も増えてきており、2010 年に 2 軒だった空き家は 2020 年には 8 軒となった。

すすむ高齢化と単身世帯の増加（前沢四丁目）

| 65 歳以上人口 |       |       | 高齢夫婦のみ世帯 |       |      | 高齢単身世帯 |       |      |
|----------|-------|-------|----------|-------|------|--------|-------|------|
| 2000 年   | 173 人 | 11.6% | 2000 年   | 38 世帯 | 7.0% | 2000 年 | 28 世帯 | 5.1% |
| 2019 年   | 393 人 | 22.5% | 2015 年   | 70 世帯 | 9.9% | 2015 年 | 68 世帯 | 9.6% |
| 住民基本台帳   |       |       | 国勢調査     |       |      |        |       |      |

## 自治会の創立

ほとんど無人だった地に各地から集まった人々が家を見て、静かで落ち着いた街並みができつつあった頃、住宅街のほぼ真ん中にマンション建設の動きが伝えられた。「日照権を守れ」、これが自治会結成の原点となった。1970 年 3 月 22 日、西中学校で設立総会が開かれ、役員と会則を決める。同年 12 月に発行された会員名簿の会員数は 87 世帯、当時のほぼ全世帯が自治会に加入した。

総会で選出された役員会（常任委員会）は 2 つの大きな課題に取り組んだ。

- (1) 真っ先に取り組んだのは「良好な住環境を」守る運動である。総会直後に、「地域環境に関する嘆願書」を当時の町長、助役に面談、提出したほか、自治会連合会に加入し、同様の訴えを何度もしている。また、新しい街づくりとして、ゴミ対策、防虫対策、街路灯（防犯灯）設置、消火器購入斡旋、つばき公園の植樹・遊戯施設設置要請、建築飯場等の火災予防、整頓等の申し入れと巡視（当時、建設中の住宅が多くあった）などに精力的に取り組んだ。
- (2) もう一つの大きな課題は「交通対策」である。通勤時間帯にはバスに乗車不能になるほどの混雑、また滝山東交差点から花小金井間は狭隘で大渋滞、などの状況だった。このため、他自治会と「道路交通対策協議会」を発足させ、何度も西武バスと交渉、住民集会や署名活動、都への陳情等を行った。

## 環境美化、防災防犯などの取り組み

自治会創立以降、会員に広く参加を呼びかけ実施した事業は、大きく分けると①清掃・環境美化、②防犯・防災、③親睦・レクリエーション（文化）の各事業となる。

### (1) 清掃、環境美化

1970 年代から 80 年代にかけては、畑地や雑木林が広く残っており、排水溝の清掃や遊歩道の落葉清掃・除草、雑木林の清掃に自治会として何度か取り組んでいる。1988 年の第 1 回市民清掃デーに前沢四丁目がモデル地区に指定され、183 名が参加、町内全域を清掃した。89 年は 150 名、90 年は 160 名が参加している。2013 年西中のクリーンアップ作戦に参加したことを契機に、前沢ときわ会、シルバー人材センターと話し合い、14 年 7 月から毎月 3 者合同の遊歩道清掃を行うことになった（シルバー人材センターはボランティア活動として）。

資源回収は、PTAや福祉団体、フラワーネットの取り組みに協力している人も多いことから、アンケートで7割以上の賛成を確認したうえで、2017年10月から実施している。

遊歩道での花壇づくりは、ごみを拾うという受け身の町内美化だけでなく、もっと能動的な美化活動として、シルバーや子どもたちと共に取り組めるイベントとして2015年から始まった。

## (2) 防犯、防災

1972年2月、東久留米消防署前沢出張所が当地に開設された。自治会はこの好条件を生かし、防災防火の講習会や映画会等を実施、1986年以降はしばしば消防署の敷地内で署員の指導で防災訓練を行った。

1989年には自主防災組織を結成。2013年から市の総合防災訓練が滝山球場で行われるようになったことを契機に、2015年2月、11の自治会、住宅管理組合で連絡会を

結成、以降、西中で避難所運営訓練を行っている。2015年からは自治会独自の防災訓練をつばき公園や野外訓練施設で再開、2018年からは避難行動要支援者を対象とする黄色いハンカチ作戦を同時に行うようになった。

## (3) 親睦行事、レクリエーション

親睦バス旅行やハイキング・見学会などの行事は、自治会創立来の毎年の一大イベントである。バス旅行は1990年代に一時参加者が少なく中止せざるをえない年もあったが、50年間で35回実施、バス2台になったこともある。なお、創立5周年記念では九小PTA校外生活部と共催で九小体育館にて文化祭を開催。会員180名のところ、300名余の参加者で盛り上がった。

1977年から始まった滝山・前沢みんなの夏祭りへは、第2回の1978年から自治会として参加。1980年代にはそろいの法被やゆかた、提灯などを斡旋した。

## 自治会と集会所

当自治会は創立以来、集会場所の確保は常に課題だった。総会は1977年までは西中学校、その後は「のぞみの家」や大道幼稚園を使用、86年からは消防署職員待機寮に落ち着いた（西部地域センターも2度使用）。消防署が廃止された2010年以降はわくわく健康プラザを使用している。役員会も役員（会長）の自宅、「のぞみの家」、大道幼稚園、くぬぎ児童館、職員待機寮、マクドナルドなどを使用、現在はわくわく健康プラザ、ときどき西中、南町地区センターといった具合。役員会に限らず町内または近隣で安定して会合のできる場所の確保は今後とも課題である。

（武田、広瀬）



東久留米消防署前沢出張所  
（東久留米消防署提供）